

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）

事業所における自己評価結果

令和5年12月

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切である	4	0	限られたスペースである。座って活動できる遊びを提供したり、床にラグを敷くことで遊びごとに分けている。	今後も使用できるスペースを有効に使用して、安全に過ごせるように工夫していく。
	② 職員の配置数は適切である	3	1	加配している。10人の利用者がいて、職員が体調不良で休んだりすると、もう少し人的余裕がほしい。	加配している。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	1	トイレ、玄関入り口は段差があるが、見守り・付き添いで対応している。	個別の学習の場所や絵本の部屋や自由遊びの出来るスペースを分けて活動できるよう今後も工夫する。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0		今後も玩具や部屋の消毒、換気、温度調整などを徹底して環境を整えていく。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	4	0	昨年に比べ職員で話し合う機会が増えた為、目標・振り返りを意識しやすくなった。	
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0	ガイドラインでの評価を毎年必ず行い、それを経て会議で検討している。	今後も、会議で評価を実施して改善点を会議で話し合い、業務改善に繋げていく。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	評価をまとめたのち、毎年ホームページにアップしている。	今後もホームページに公開する。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		法人として、外部評価の実施を検討していく。
	⑨ 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	毎月職場内研修を実施している。日常的に研修を探す癖をつけられると良い。	今後も毎月の職場内研修を実施し、日々の支援に繋がる内容を学んでいく。加えて、外部の研修への参加に機会を増やしていく。
適	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発	4	0		今後も、当所アセスメント、標準化されてアセスメントを活用

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	達支援計画を作成している				して、所属先や家庭でのニーズを分析して立案していく。
⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		今後も、可能な限り標準化されたアセスメントの結果と所見の提供をお願いし当所での療育に繋がられるようにする。
⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0	保育所や家での様子も記載し、その上で社会性を身につけるための支援について記載がある。	
⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	ケース記録にも個別支援計画を挟み、見る機会を増やし、意識した支援ができるようにしている。	
⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	リーダーが中心となり当日に決めている。	
⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	制作やサーキット、公園に行くなどをし、固定化しないようにしている。 1日の利用児童が9、10人の日が多く、朝の会で体を動かす機会が作りづらい。	タブレットを使った療育の検討、教材や玩具の選定、購入を検討していく。
⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成している	4	0	支援すべき場面や声の掛け方など細かく書かれている。 ニーズを把握し、個別支援計画に入れられるようにしている。	
⑰	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1	申し送りを行うようになった。 打ち合わせはするが、度々報連相が抜けていることがある。	朝の打ち合わせを実施している。 更に職員間の連絡ノートにて情報を共有している。
⑱	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	4	終了後の打ち合わせは行っていない。 打ち合わせという形式ではないが、支援について必要なことは話し合っている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
				る。 終了後ではなく、その都度情報共有をしている。又はノートを活用。	
	⑱ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		今後も詳しく児童の様子を記載していく。
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	半年に一度行っている。	
関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		今後、会議開催時には児童発達支援管理者や個別支援計画書の作成担当者が出席できるようにする。継続してモニタリング等で連携を図っていく。
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0	必要に応じて行っている。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	主に管理者が行っている。	今後も保護者を介しながら、情報共有をしていく。
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1	必要に応じて。以前の管理者は行っていたが、現在は行えていない。	
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1		
	㉘ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	4	送迎時に保育所とすれ違ったり、公園で会うことはある。障害のない子どもとの活動機会はないに等しいが、たまに公園に行くと一緒に交流することは	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
				ある。 間接的に(公園等)交流する機会を持っている。	
	②9 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	0	必要に応じて行っている。	
	③0 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	連絡帳を主とし、必要があれば直接話す機会を設けている。	
	③1 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている	1	3	ペアレントトレーニングの専門的な知識を持っている職員がおらず、行っていない。 保護者から相談があった場合や伝える必要のある時に行う。	
保護者への説明責任等	③2 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	契約時に行っている。	今後も丁寧な説明を心がけていく。
	③3 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		今後も、個別支援計画作成面談で、評価、次回の目標の提案をわかりやすく伝えるようにしていく。
	③4 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	面談時に聞き取りをしている。 また定期的ではなく日頃の利用時にも相談に乗っている。	
	③5 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4	父母会、保護者会を必要とされない方もおり、行っていない。	必要に応じて職員を介して連携を支援していく。進学先、医療系の情報など適切な情報提供ができるようにしていく。
	③6 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		迅速・適切に対応していく。解決フローチャートを策定している。
	③7 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		定期のおたより・なのはな通信・ホームページで発信していく。今後 Facebook・Instagramでの発信も増やしていく。1月より、きずなネットの利用を開始、円滑で適切な情報提供ツールとして活用していく。
	③8 個人情報の取り扱いに十分注意している	4	0		今後も十分配慮していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容または改善目標
	③⑨ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	細かな様子も伝えて共有している。	
	④⑩ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4	当所ではしていない。行っていないが、他事業所では行い、そこに参加する形をとっている。	感染対策を講じながら、徐々に再開できるよう検討していく。
非常時等の対応	④⑪ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0		
	④⑫ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	避難訓練実施の他、AEDの練習や消火器の使い方などを職員研修にて行っている。	今後も年に数回の避難訓練を実施して災害時に備える。いろいろな災害を想定して訓練できるようにする。
	④⑬ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	4	0	保護者を通して対応している。	職員の研修で服薬時、てんかん発作時に注意点について学び、実際の場面で適切な行動ができるようにする。
	④⑭ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	アレルギーのある子をまとめた紙があり、配慮すること、アレルギー反応があった時の対応が書かれている。保護者を通じて対応している。	今後も職員が食物アレルギーについて学ぶ場を作り、理解を深め適切に対応していく。
	④⑮ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0		リスクマネジメント会議を行い、職員間で共有している。
	④⑯ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	支援会議や記事を都度回覧し、周知できるようになっている。	毎年会議で扱っている。虐待事件の内容について、回覧し自らの言動を見直す機会としている。
	④⑰ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	契約時に必ず確認している。児童や周囲の児童に危険がある(本人)場合についてどのような対応(道路を歩く時に手首を持って移動することなど)をするか伝えている。計画書に記載している。	

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（児童発達支援）

保護者等からの事業所評価の集計結果

実施日	令和5年11月9日～12月11日
配付数	17件
回収数	11件
回答方法	無記名

※ご意見を踏まえての対応につきましては、『事業所における自己評価結果』も参考にご覧ください。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
環境・体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	10	1	0	0	広く、日当たりも良いので開放的だと思います。	限られたスペースの中でテーブルの設置やラグを敷くことで対応している。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	9	0	0	2		加配している。保育士・児童指導員を配置している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	1	0	2	すべての部屋を見たわけではないのでわからないこともありますが、玄関付近は少なくともわかりやすくなっていると思います。	構造化と視覚・聴覚各々に適した分かりやすい指示等配慮している。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11	0	0	0		玩具・教材と家具・室内等の消毒・清掃を回数を増やして実施している。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	10	1	0	0		
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	10	1	0	0		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
	⑦ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11	0	0	0		今後も適切な支援を実施できるようにする。
	⑧ 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	10	0	0	1		
	⑨ 保育所や認定こども園、幼稚園との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	1	1	5	あるかもしれないが、利用日ではなかったように思います。特に気にならず。	
保護者への説明等	⑩ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11	0	0	0		引き続きわかりやすい丁寧な説明を心がける。
	⑪ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	11	0	0	0		引き続き個々の現状から見えてくる課題を分析し、面談時に話せるようにしていく。
	⑫ 保護者に対して家族支援プログラム（ペアレントトレーニング）等が行われているか	7	1	1	2	そのような機会がなかったように思います。	
	⑬ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	10	1	0	0	子を預ける時に日々困っていることの相談ができたり、中の雰囲気を知ることができて安心できます。ノートでもいつでも相談できるのでとてもありがたいです。	連絡帳や送り迎え時に情報共有をしている。
	⑭ 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2	0	0		日々の利用時と個別支援計画更新時の面談を実施している。
	⑮ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	0	1	6	4	今のところありません。コロナの影響かもしれません。	
	⑯ 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	10	0	0	1	すぐに対応してくださるので助かっています。	日々の対応の他、苦情相談申し立ての仕組みが構築されている。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11	0	0	0		
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	11	0	0	0		ホームページ、毎月のおたより、なのはな通信で発信している。
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	11	0	0	0		
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明がされているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	11	0	0	0		今後も定期的にマニュアルを紹介し、職員研修で扱う。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	9	1	0	1		訓練を継続し、不都合な点を改善していく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	10	0	0	1	楽しみにしています！お友達も沢山できて楽しいようです。いつも楽しく通わせていただいています。ありがとうございます。	一人ひとりに合った支援を実施し、成長を促し楽しく通所できるよう、取り組んでいく。迎え時に気持ちが悪く崩れぬように配慮し、次回気持ち良く登所できるようにする。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	10	0	0	1	お勉強など本人にとって少しだけむずかしいような事でも挑戦させてくださるので、とても助かっています。家ではかんしゃくを起こしてできないことをキッズで丁寧に教えていただけるので感謝しております。保育所で問題が起こって通えない時でも、こちらだと	個々に寄り添う支援ができるよう目指していく。ヒヤリハットで原因不明のものが無いようにする。他児との関わりに変化を付けたり、広げられるよう、適切に介入したり、機会を作ったりする。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえての対応
							<p>落ち着いて過ごせているので、ありがとうございます。 子どもに合った支援をしていただいていると感謝しています。</p>	

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）

事業所における自己評価結果

令和5年12月

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等のスペースとの関係で適切であるか	4	1	0	高校生が多く狭いと感じることがある。 活動に合わせてパーティションを活用する等工夫している。 室内に必要最低限の玩具しかないためスッキリしている。
	② 職員の配置数は適切であるか	4	1	0	加配職員を配置している。 基準の職員以外の職員の人数が日によって多い日と少ない日がある。
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	2	2	1	車イスで入るスペースがない。 福祉車両（リフト車）があってもよい。 配慮が必要な児童にはマンツーマン対応をしている。
業務改善	④ 業務改善を推進するためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に広く職員が参画しているか	5	0	0	会議での検討・日々の療育・保育の中で相談している。
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	5	0	0	保護者評価を会議で検討し、意見を出し合っている。
	⑥ この自己評価表の結果を事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	1	0	ホームページで公表している。
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	1	2	第三者による業務評価については、法人として検討している。
	⑧ 職員の資質の向上を行うために研修の機会を確保しているか	5	0	0	毎月、職場内研修を実施。 外部の研修、意見交換会へ参加。 強度行動障害基礎研修、実践研修に参加し、資格取得。
適切な支援の提供	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	当所アセスメントと、学校や家庭でのニーズを分析して立案している。計画
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	0	0	標準化されたアセスメントについては、保護者から結果と所見の提供を受け、活用している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	0	0	申し送りの時間を設け、活動プログラムの共有をしている。
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	2	0	リーダーを変えることで変化がつけられている。新しい活動が取り入れられるように、リーダー以外のアイデアも集められるようにする。
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめて細やかに設定して支援しているか	3	2	0	利用児の障害の幅や重さに幅があるため、細やかに支援時間の変化に応じて設定することが難しいと感じることがある。それぞれの特性や障害に合わせて支援できるように工夫していく。
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	児童の特性や発達段階に合わせて、個別、小集団等の活動を組み合わせる計画を作成している。
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	5	0	0	支援開始前の打ち合わせを実施。児童の様子を共有して、対応について確認している。職員によって出勤時間が異なるも申し送りを行っている。
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	3	2	0	送迎の関係で実施出来ない事もあるが、気になる児童の様子や業務連絡等その日のうちに振り返り、共有する時間を作っている。
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	0	0	職場内研修にて記録の書き方について学び、日々の業務に活かせるように意識している。メモ書き等を活用して情報を活用できるようにしている。
	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	定期的実施している。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	1	0	自己評価を記入する前に、ガイドラインの全文を回覧して周知した。
関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	1	0	サービス担当者会議に児童発達管理責任者が参加し、学校や他事業所と連携している。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	0	0	HP で年間の計画や行事予定表を取得したり、保護者を通して、学級だよりをいただき、連絡調整に活用している。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標・工夫している 点など
	②② 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡態勢を整えているか	/			
	②③ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	5	0	0	当事業所の児童発達支援を通して、情報提供を受けている。児童発達支援から移行する際に引き継ぎをしている。
	②④ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	保護者・相談支援専門員を通して情報提供している。高校卒業後、当法人の生活介護事業所の利用を希望したり、実習に行く生徒が増えている。今後も、情報提供等を実施していく。卒業後に利用する事業所での担当者会議に参加。
	②⑤ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	研修を受講したり、情報を職場内で共有するようにしている。
	②⑥ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	0	2	3	近隣の公園で交流する機会があった。マンションのクリスマスツリーや七夕の飾りつけに参加して交流できるようにした。地元小学校に通学している児童は、日頃から交流している。
	②⑦ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか。	1	4	0	機会があれば参加する。
	②⑧ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	日々の連絡帳のやり取りで共通理解を図っている。加えて、送迎の際にその日の様子を伝えられるようにしている。
	②⑨ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	1	0	支援員が可能な範囲で対応している。ペアレントトレーニング等はその有資格者が実施すべきものと考えており、当事業所にはいない。
保護者への説明責任等	③⑩ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	契約時と変更・更新時等に書面で伝えている。今後も丁寧な説明を心掛ける。
	③⑪ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	5	0	0	今後も職員の資質の向上を図り必要な助言ができるようにしていく。
	③⑫ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	2	2	児童年齢や発達段階が幅広いこと、毎日利用する場と違い、人それぞれの頻度であること等から、現在のところは必要に応じて職員が間に入る等して、保護者同士の連携を支援している。特に、進路選択への情報は面談

	チェック項目	はい	どちらとも いえなし	いいえ	改善目標・工夫している 点など
					時に情報伝えられるようにしている。
	③③ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	迅速・適切に対応していく。解決フローチャートを策定している。
	③④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	1	0	定期のおたより・なのはな通信で様子を発信している。加えて、療育の様子や行事の様子を写真で伝えられるようにしている。きずなねっとを上手く活用できないことがあるため、今後適時活用できるように体制を整えていく。
	③⑤ 個人情報に十分注意しているか	5	0	0	今後も十分配慮していく。
	③⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	5	0	0	個々に適した方法で伝達していく。
	③⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	4	0	地域の避難訓練に参加したり、マンションのエントランスでの行事の飾り付けに参加した。同法人の祭りに参加。地域の方と関わる機会となった。
非常時等の 対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	5	0	0	今後も職員会議で扱うと共に、保護者には年度替わり等に伝えていく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他の必要な訓練を行っているか	5	0	0	避難訓練は毎年実施している。広域避難場所への避難経路も体験している。今後もより多くの児童が訓練に参加できるように実施日に配慮していく。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	1	0	毎年会議で扱っている。虐待事件の内容について、回覧し自らの言動を見直す機会としている。
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	5	0	0	必要に応じて保護者に説明して記載している。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	現在、医師の指示書を必要とする強いアレルギーを持つ児童はいないが、アレルギーがある児童用のおやつリストが用意されている。職場内研修でエピペンの使い方を学んでいる。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	職員会議で事例の振り返りを行い、年1回総まとめとして件数やその後の対応と今後の配慮点の検討会等を実施している。

社会福祉法人愛誠会 幕張キッズ（放課後等デイサービス）

保護者向け放課後等デイサービス評価表集計表

実施日	令和5年11月9日～12月11日
配付数	28
回収数	18
回答方法	無記名

※『事業所における自己評価結果』も併せてご覧ください。改善点・工夫している点等の記載があります。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制整備	①	子どもの活動スペースが十分に確保されているか	9	7	1	
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	16	2	0	
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	11	7	0	
適切な 支援の 提	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	18	0	0	
	⑤	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	13	5	0	今年は外出行事がやっと再開させればじめてうれしい
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や障害のない子どもと活動する機会があるか	1	9	7	※わかりません1
保護者 への 説明 等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	17	1	0	
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来ているか	18	0	0	いつもノートでも困りごとを相談できるので安心です
	⑨	保護者に対して面談や育児に対する助言等の支援が行われているか	18	0	0	未記入1
	⑩	父母の会の活動の支援や保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	8	9	特に「いいえ」でも気にならないので大丈夫です。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について対応の体制を整備すると共に、子どもや保護者に周知説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	0	0	
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	0	0	
	⑬	定期的に会報やホームページ等で活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	16	2	0	
	⑭	個人情報に十分注意しているか	17	1	0	
非常時 等の 対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、保護者に周知説明がされているか	17	1	0	マニュアルがあるが、時間がたつと忘れてしまいがち（保護者）繰り返し教えてください。 緊急時の避難先
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	17	1	0	
満	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか (無記入)	16	0	1	未記入1 ・「いいえ」…子ども側の事情で

	1)				す ・部屋から出てきた時にスッキリとして笑顔なので楽しめていると思います。
⑱	事業所の支援に満足しているか 1) (無記入)	16	1	0	未記入1 ・送迎していただけたともありがとうございます。いつもありがとうございます。 ・いつも本人のペースに合わせて支援して頂いていて感謝している。 ・幕張キッズだけでみていただいている。課題も多くあり、手厚い支援に感謝しています。いつもありがとうございます。 ・いつも大変お世話になりありがとうございます。